

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

施設名 山梨県立青少年センター
 所管課 教育委員会 生涯学習課
 指定管理者 公益財団法人山梨県青少年協会

1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度				委託料総額 (単位:円)	
指定管理者名	出資 法人	指定期間				
財団法人山梨県青少年協会	○	H18.4.1	～	H21.3.31	3年	303,149,000
公益財団法人山梨県青少年協会 (H23.3.31まで財団法人)	○	H21.4.1	～	H26.3.31	5年	518,477,000
公益財団法人山梨県青少年協会	○	H26.4.1	～	H31.3.31	5年	528,953,000
公益財団法人山梨県青少年協会	○	H31.4.1	～	R5.3.31	4年	452,143,339

2 施設の概要

所在地	甲府市川田町517
設置年月日	昭和45年12月1日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立青少年センター設置及び管理条例
設置目的	青少年に自主的かつ創造的な活動、交流等の場を、青少年を指導する者に研修の場を提供することにより青少年の健全な育成を図るとともに、勤労者に研修、交流等の場を提供することによりその福祉の増進に資するため。
主な業務の内容	(1)施設の利用承認等に関する業務 (2)施設管理に係る業務 (3)青少年健全育成等に関する業務 (4)防災等に係る業務 (5)管理運営に必要な業務 (6)施設及び設備の維持管理業務
主な施設内容 (定員等)	・本館：第1研修室(72人)、第1会議室(24人)、第2会議室(45人)、第3会議室(24人)、第4会議室(12人)、第1・第2和室(各5人)、運動場、宿泊施設、食堂、事務室、書庫兼会議室、青少年相談室、体育館、プール(25m×15m、7コース) ・別館：音楽室、団体事務室、団体交流室、多目的ホール(180人) ・リバーズ和戸館：第5会議室(18人)、第6会議室(18人)、第7会議室(25人)、第2研修室(50人)、第3研修室(30人)、第3和室(30人)、視聴覚室(48人)、体育室、トレーニング室、テニスコート
備考 (改築工事等の状況、一括管理施設等)	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
収入合計	131,799,768	131,924,037	130,497,544	130,650,385	128,758,440	
支出合計	132,532,261	145,103,123	123,831,030	130,401,103	128,700,514	
収支差額	△ 732,493	△ 13,179,086	6,666,514	249,282	57,926	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用実績	209,129人	204,299人	175,834人	99,196人	111,647人	利用者数
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和3年度)

事業計画等に基づき、専門業者による法定点検及び職員による日々の定期点検を実施し、結果については県に報告し確認を受けている。

また、施設の維持管理については、利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう、アンケート調査の内容など利用者の声に耳を傾け、より安全で快適な施設管理を行った。

令和3年度は利用者数目標値(129,000人)を達成することができなかったが、前年度の利用者(99,196人)に対し12,451人の増加となった。増加した主な要因としては、新型コロナウイルス感染防止対策のための施設管理、施設運営の徹底を図り、定員数の緩和など安全に利用者を受け入れられる体制を整えたことによるものと考えられる。また、主催事業においても、前年度は中止する事業が多かったが、令和3年度は感染予防対策の徹底を図り、安全を考慮しながら行うことができた。

施設設備の維持管理に努め、利用者に安全で快適な場の提供を行うとともに、検討会を開きより効果的な広報活動を行い利用者増を図る。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和3年度)

基本協定書に基づく事業計画に対して、適切に指定管理業務を実施しており、施設利用者の安全を確保するための定期点検等が日々行われている。

令和3年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けて休館や利用者数の制限等の措置をとった。その結果、利用者数の目標値には達しなかったものの、感染防止対策の徹底を図ったうえで利用者数の制限を緩和したことにより、前年度よりも利用者数が増加した。アンケートの結果からも、利用者からは概ね施設に関しては高い評価を得ている。今後も利用者の利便性を確保し安全に配慮した運営が行われるよう、引き続き指導していく。

自主事業に関しても、新型コロナウイルス感染症拡大により中止を余儀なくされた事業はあったものの、感染防止対策を徹底したうえで、前年を上回る実施となった。

一方、施設に関しては老朽化が進んでいるので、利用者の安全が保たれるよう、保守・点検業務の一層の徹底を指示した。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和3年度)

令和3年度は新型コロナウイルス感染症防止対策に関して、設備面ではリバース和戸館の多目的トイレドアの非接触型への改修を行い、利用者が安心して利用するための整備を行った。また、入口に発熱を感知するセンサーを設置したり、施設の換気を常時行うなどの感染症防止対策を徹底した。利用制限に関しては、県からの協力要請などに応じて利用人数の緩和等の措置をとるなど、状況の変化に即応できるように情報交換を綿密に行なった。

利用者の安全確保に関しては、利用者が安全で安心して利用できるよう、定期的開催する職員ミーティングにおいて職員の意識付けや防犯対策の強化を図った。

利用者からの声に関しては、定期報告書に寄せられるアンケート結果を基に、施設の安全な利用を確保するための保守・点検業務を実施した。また、SNSで施設の予約状況を発信するなど利用者の増加に向けたサービス向上に努めた。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

施設名 山梨県立青少年センター
 所管課 教育委員会 生涯学習課
 指定管理者 公益財団法人山梨県青少年協会

1 利用状況 (単位:人、%)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	利用者数	209,129	204,299	175,834	99,196	111,647
	(うち事業参加者数)	(6,790)	(5,877)	(2,815)	(309)	(557)
	利用者数合計	209,129	204,299	175,834	99,196	111,647
	目標値	289,770	290,206	217,000	217,000	129,000
	実績/目標割合	72.2%	70.4%	81.0%	45.7%	86.5%
	目標値の設定方法	指定管理者が計画した利用者数を目標数値とする。 【平成28～30年度】過去5年間(H20～H24)の実績値と平均上昇率を参考に設定した。 【令和元年～2年度】H26.28.29年度の平均数値を目標値とした。(H27年度は近隣小学校の都合により一時的に利用者数が増加した。) 【令和3年度】新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減を考慮し、H26.28.29年度の平均数値からR2年度の減少数を差し引き目標値とした。				
利用率	稼働率等(利用率)	41.7%	39.8%	38.7%	30.0%	31.6%
	稼働率等(利用率)の算定方法	会議室使用数/(1日の利用可能数×開館日数)				
利用率	稼働率等(利用率)	34.1%	35.0%	27.3%	3.5%	17.4%
	稼働率等(利用率)の算定方法	宿泊室使用数/(宿泊可能部屋数×宿泊可能日数)				
利用率	稼働率等(利用率)	66.0%	66.2%	66.0%	61.4%	62.6%
	稼働率等(利用率)の算定方法	体育施設使用コマ数/(使用可能コマ(1時間)×開館日数)				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	(1)山梨県立男女共同参画推進センター(ぴゅあ総合) (2)山梨県小瀬スポーツ公園 (3)山梨県緑が丘スポーツ公園
----------	---

3 補修工事等の状況(令和3年度) (単位:円)

管	テニス場フェンス工事	495,000
管	テニスコート自立型分電盤改修工事	440,000
管	東側駐車場区画線修繕他30件	2,097,887

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施
 *ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和3年度) (単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
4	公募	売上額の30%(1台)、42%(3台)	562,874	
4	公募	売上額の25%、30%(各1台)、33%(2台)	479,894	
1	公募	売上額の22%	48,908	
1	公募	売上額の25%	11,444	
1	公募	売上額の25%	20,628	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収 入	A 収入額計	131,799,768	131,924,037	130,497,544	130,650,385	128,758,440
	施設利用料	22,686,910	22,933,760	19,067,058	13,800,250	15,160,600
	指定管理委託料	106,353,000	106,425,000	109,466,000	114,246,113	111,624,765
	追加委託料(感染症)				1,150,461	557,105
	自動販売機収入	1,299,233	1,340,415	1,710,880	968,889	1,123,748
	事業収入	1,251,379	866,420	34,120	6,020	56,620
	許可団体電気料	206,575	358,313	175,528	182,699	210,484
	その他	2,671	129	43,958	295,953	25,118
支 出	B 支出額計	132,532,261	145,103,123	123,831,030	130,401,103	128,700,514
	人件費	66,430,719	75,508,198	70,263,914	71,040,129	65,518,257
	修繕費	4,333,100	5,972,149	2,659,012	4,538,958	3,032,887
	光熱水費	16,854,121	19,213,529	14,194,515	11,874,357	14,464,218
	諸謝金	136,000	101,995	14,000	16,000	1,118,500
	消耗品費	4,455,715	3,503,839	2,026,995	4,854,177	4,099,557
	燃料費	8,929,667	10,383,493	5,395,996	8,460,021	10,797,464
	印刷製本費	632,244	932,987	318,461	402,235	212,176
	租税公課	4,240,410	4,702,541	6,742,822	7,082,525	6,473,250
	通信運搬費	767,505	710,834	865,614	503,128	506,292
	旅費	359,407	271,708	188,560	18,818	65,904
	使用料	1,619,936	1,989,268	2,734,567	1,787,078	2,015,867
	保険料	202,670	275,670	236,319	187,797	180,006
	その他	476,749	597,691	629,561	391,845	241,877
	外部委託費	23,094,018	20,939,221	17,560,694	18,994,753	19,916,334
	清掃業務	8,574,336	8,574,336	9,810,000	10,186,000	10,186,000
	警備業務	829,440	829,440	810,960	836,000	831,600
	庭園管理業務	1,186,756	1,202,832	1,212,120	1,147,100	1,239,000
	エレベーター管理	518,400	518,400	378,000	237,600	237,600
	寝具クリーニング	360,028	514,620	446,581	538,263	553,883
	電気設備点検	408,240	408,240	425,750	429,660	429,660
	特殊建築物定期調査		1,026,900	490,267	499,346	1,295,800
	地域活性化事業企画運営		1,985,040			
	その他	11,216,818	5,879,413	3,987,016	5,120,784	5,142,791
外部委託比率	17.4%	14.4%	14.2%	14.6%	15.5%	
県への納付金				249,282	57,925	
収支差額(A-B)		△ 732,493	△ 13,179,086	6,666,514	249,282	57,926

一人当たり指定管理者委託料*	508.6	520.9	622.6	1,151.7	999.8
----------------	-------	-------	-------	---------	-------

* 指定管理者委託料÷利用者数(単位:円)

(参考) 自主事業に係る収支状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
C 収入額計	6,125,471	6,282,108	6,948,776	4,707,879	4,549,984
D 支出額計	12,672,494	9,906,856	6,516,968	4,321,152	4,452,133
収支差額(C-D)	△ 6,547,023	△ 3,624,748	431,808	386,727	97,851

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

6 利用者満足度

実施方法等	実施時期: 令和3年4月～令和4年3月 実施方法: 利用者へのアンケート 回答数: 1,278件			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①施設の広さは十分ですか	87.2%	12.1%	0.5%	0.2%
②備品用具の種類・数量は十分でしたか	88.6%	10.2%	1.0%	0.2%
③施設等は全体として充実していましたか	87.7%	10.5%	1.6%	0.2%
④利用施設は清潔でしたか	87.5%	11.8%	0.6%	0.1%
⑤設備は使いやすかったですか	88.3%	9.5%	2.0%	0.2%
⑥設備用具の整備状況は良好でしたか	87.5%	10.2%	2.2%	0.1%
⑦料金は適切だと思いますか	87.0%	11.2%	1.7%	0.1%
⑧職員の対応は適切でしたか	89.8%	9.7%	0.4%	0.1%
⑨利用可能時間は適切と思いますか	84.7%	11.5%	3.5%	0.3%
⑩施設のバリアフリーは十分でしたか	86.0%	12.8%	1.0%	0.2%
⑪サービス内容は全体的に良好でしたか	88.8%	10.4%	0.6%	0.2%
施設全般の満足度	89.3%	10.5%	0.2%	0.0%
利用者の主な意見	<p>【施設・設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設運営の継続をお願いしたい。 体育館のネットを修理してほしい。 リバース和戸館で足の悪い方がいたので、エレベーターなどがあったらよいと思った。 <p>【予約方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> もう少し長く借りたい。 ネット予約にして欲しい。 <p>【企画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 講義をもう少し子供向けにして欲しかった。 年間の回数を増やして欲しい。 			
利用者の意見への対応	<p>【施設・設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県へ報告した。 確認し、ネットを交換した。 県へ要望中。※令和4年度のリバース和戸館改修工事でエレベーター設置予定。 <p>【予約方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在予約方法を検討中。 <p>【企画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見を講師に伝え来年度以降改善していく。 できる範囲で回数を増やしていく。 			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

7 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>法規に基づく点検を専門業者に委託するなど、徹底した管理運営を行っている。また、法規の定めのないものについては、職員による日常点検の実施と安全性をより重視した月次定期点検を実施している。</p>	<p>法定点検業務等施設の維持管理業務が、事業計画に基づき適切に実施されている。利用者の安全確保に重点を置き、施設内の秩序を維持し、安全衛生対策のためのマニュアル作成及びそれに基づく周知徹底を図っている。</p>
運営業務	<p>事業計画等に基づき、適正に業務を執行した。また、利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう、アンケート調査の内容など利用者の声に耳を傾け、より安全で快適な施設管理を行った。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染防止対策のための施設整備やガイドラインを随時更新し、利用者が安心、安全に施設を利用できるように努め、新型コロナウイルス感染防止対策のための利用休止期間中には、更なる利用者へのサービス向上のため、職員による施設内の修繕および整備等、維持管理を行った。</p>	<p>事業報告書及び現地確認の結果、適正に業務が運営されている。今後も利用者のニーズの把握、利用者の増加やサービスの向上に努めること。アンケート調査では、概ね利用者には満足していただいている旨回答を得ているが、快適な利用に向けて、引き続き安全を重視した業務に努めること。</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策のため、施設のガイドラインを県からの要請に応じて柔軟に更新し、利用者の安全の確保を図った。臨時休館中は、施設の清掃や点検、補修などの整備をすることで、再開後に向けての準備を行っていた。</p>
利用状況	<p>令和3年度の利用者数は111,647人で、前年度の利用者(99,196人)に対し12,451人の増加となった。増加した主な要因としては、新型コロナウイルス感染防止対策のための施設管理、施設運営の徹底を図り、定員数の緩和など安全に利用者を受け入れられる体制を柔軟に整えたことによるものと考えられる。また、主催事業においても、前年度は中止する事業が多かったが、令和3年度は感染予防対策の徹底を図り、安全を考慮しながら行うことができた。</p> <p>引き続き、利用者が快適に利用する施設にするために、保守点検活動を徹底するとともに、利用者の増加に向けて、広報活動を工夫して行っていく。</p>	<p>新型コロナウイルス感染防止対策として、換気対策や施設利用者数の制限を柔軟に行うことで、施設管理・運営を適切に行なった。</p> <p>主催事業は、感染防止対策を十分講じることで参加者の安全を担保し、前年度よりも開催数を増やすことができた。</p> <p>新規利用者の増加に向けて、現在行っているSNSを中心とした広報活動を幅広く行うこととともに、引き続き施設利用者へ快適に利用していただくための丁寧な対応を求める。</p>
収支状況	<p>利用者サービスの向上とコスト意識を高めた予算管理を行い、経費節減に努めた。燃料や電気料の値上がりの影響はあるものの、徹底した温度管理を行うなどし、燃料費および光熱水費を抑えることができた。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染予防対策のため、施設の整備および維持管理を行ったことによる消耗品費、修繕費はあったが、前年度よりは減少した。</p> <p>利用料金収入においては、新型コロナウイルス感染拡大のため、施設の休止および各施設の利用制限、および事業の中止などの影響はあるものの、前年度より約130万円増加した。</p>	<p>光熱水費や燃料費などの値上がりに対して、利用者の利便性を確保して上で徹底した費用管理を行った。新型コロナウイルス感染防止対策のために修繕費等の計上はあったものの、コスト意識を高めて経費節減に努めた。</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策を柔軟に行うことで利用者数は増加し、利用料金収入が増加した。</p> <p>職員一人ひとりが常に施設利用者の立場に立ち安全性の確保を図るとともに、経費節減の工夫を重ねること。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

<p>自主事業</p>	<p>今年度も「甲運地区子供教室」を実施した。甲運小学校、甲府市教育委員会・子ども未来部、甲運小放課後児童クラブ、当協会が推進協議会を開催し、事業内容の充実を図った。 また、「備品貸し出しサービス」では、利用者へのサービスの向上を目指し、備品の充実、維持管理に努めた。 前年度は新型コロナウイルスの影響により中止および休止する事業があったが、令和3年度は安全対策を行ったうえで実施することができた。</p>	<p>自主事業は、新型コロナウイルス蔓延のため中止した事業はあったものの、工夫と改善により最小限に抑えることができた。 青少年育成事業として、居場所作り一環とした甲府市等の地域と協働して行う「甲運地区子供教室」の事業や、若者の相談機関である「コンサルテーションビューロー事業」などの事業に積極的に取り組んでいる。 今後も利用者のニーズを把握し、利用者の満足度を向上させる魅力ある自主事業の企画に努めること。</p>
<p>利用者満足度</p>	<p>利用者アンケートの要望については、より安全で快適な施設管理を行うため可能な限り迅速な対応を行った。 また、専門的な知識や技術を要する修繕についても、利用者の安全を第一に対応を検討し、必要に応じて県への報告と協議を行った。</p>	<p>利用者アンケートについては、定期報告書により毎月報告されている。今後も、アンケートをもとに、施設設備や業務の改善を図るよう指導する。 新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を効果的に行うことで、利用者の満足度を高められるよう、引き続き施設と連携して対応する。</p>

8 施設所管課による定期評価結果

<p>施策推進業務の内容</p>	<p>評価</p>	<p>改善内容</p>
<p>青少年育成事業及び指導者養成講座等の企画・実施</p>	<p>青少年育成に向けた事業を通じて、施設の使用促進を図るため、利用者へのアンケートを行い、目標値を8割の利用者が満足と設定した。 コロナ禍ではあったが、感染症拡大防止対策を十分行うことで、参加者の安全を確保し、目標を上回る結果となった。</p>	<p>事業の利用者の満足度を高めるため、引き続き利用者アンケートなどを効果的に実施して事業の工夫改善を図る。</p>
<p>事業の開発及び改善</p>	<p>青少年センターの更なる利用者数の拡大のため、主催事業を見直した上で事業の改善を図った。前年度の5事業を目標として設定した。 密を防ぐことや参加者の健康事前確認を十分図ることなど、工夫を重ねることで事業を中止にすることなく目標事業数に達することができた。</p>	<p>実績が前年度を上回った要因としては、新型コロナウイルス感染が蔓延する中においても、なるべく事業を実施しようと工夫を重ねることがあげられる。今後は、新規の事業の開発など、ウィズコロナを意識した事業の開発を検討する。</p>
<p>事業の実施</p>	<p>青少年センターの施設利用促進のため、計画した主催事業をすべて実施することを目標とした。 新型コロナ感染症蔓延により、密を防ぐことがどうしてもできないなどの理由のため2事業が中止を余儀なくされたが、感染防止対策を工夫するなどして他の事業は実施することができた。</p>	<p>計画した事業をすべて実施できなかった原因としては、事業が新型コロナウイルス感染の影響を受けるような形態であったと判断できる。よって、事業の計画の段階において、感染対策を考慮して実施に向けた検討をする。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

9 管理体制(組織図)

令和3年4月1日現在

